

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2020年8月

今、皆さんにとっての『希望』は何でしょうか。世界的に疫病が流行したことによって日常が失われてしまった今、「元の平穏な生活に戻ること」でしょうか。本来あるべき状態からかけ離れてしまっている学業や職場が活気を取り戻し、経済が好転し始めることでしょうか。

状況が切羽詰まっている場合にはそんな悠長な話ではなくて、次の仕事、来月の支払い、明日の現金、明日の食物、という危機を覚えざるを得ないかもしれません。もしそうなら、『希望』など持つことができるのでしょうか。

新約聖書の中に、「パウロ」という人が出てきます。英語読みだと「ポール」です。この人は最初のうちはキリスト信者を異端者と思い、捕えて投獄する働きをしていたのですが、顕現したイエス・キリストに語りかけられて彼を救い主として信じ、その後の生涯をイエス・キリストを伝える伝道者として過ごしました。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南14条西18丁目4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

希望は失望に終わらない

パウロは、彼に反対する人たちから憎まれ、追われ、傷つけられ、投獄され、最後はローマ帝国によって処刑されたと伝えられています。新約聖書の多くの部分の著者でもあり、その中で自身が経験しているさまざまな苦難について記しています。

苦勞したことはもっと多く、投獄されたことももっと多く、むち打たれたことは、はるかにおびただしく、死に面したこともしばしばあった。ユダヤ人から四十に一つ足りないむちを受けたことが五度、ローマ人にむちで打たれたことが三度、石で打たれたことが一度、難船したことが三度、そして、一昼夜、海の上を漂ったこともある。幾たびも旅をし、川の難、盜賊の難、同国民の難、異邦人の難、都会の難、荒野の難、海上の難、にせ兄弟の難に会い、勞し苦しみ、たびたび眠られぬ夜を過ごし、飢えかわき、しばしば食物がなく、寒さに凍え、裸でいたこともあった。

(新約聖書 コリント人への第2の手紙 第11章23～30節)

なぜ、彼はこんなにつらい思いをしなければならなかったのでしょうか。なぜ、それに耐えてでもキリストを伝えたかったのでしょうか。

それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、忍耐は鍊達を生み出し、鍊達は希望を生み出すことを、知っているからである。そして、希望は失望に終ることはない。なぜなら、わたしたちに賜わっている聖霊によって、神の愛

がわたしたちの心に注がれているからである。

(新約聖書 ローマ人への手紙 第5章3~5節)

復活のキリストを通して示された神の愛が彼を圧倒し、あらゆる患難の中にあっても『希望』が圧倒していたからなのです。それゆえ、失望したりくじけたりせず、むしろ患難をも喜んだのです。

もしかすると、今これを読んでくださっている方の中には、パウロに匹敵する困難に直面している方がいらっしゃるかもしれません。もう、何の希望も持てない状況であるかもしれません。でも、パウロと同じ希望を持つならば、その困難の中でも希望を見いだすことができるはずです。その希望とは？ 圧倒する「神の愛」なのです。

祈ってみましょう

私を愛しているという神様、わたしはあなたの存在を知りませんでした。でも、パウロという人があなたの愛に圧倒され、あらゆる患難の中でも希望を抱き続けていたことを読みました。わたしにも、その希望を与えて下さい。天地の創造主である、真実の神様の愛によって圧倒して下さい。今まで目を背けていたことをお許し下さい。



教会の定期集会のご案内

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に鑑み、集会の縮小・短縮をしています。

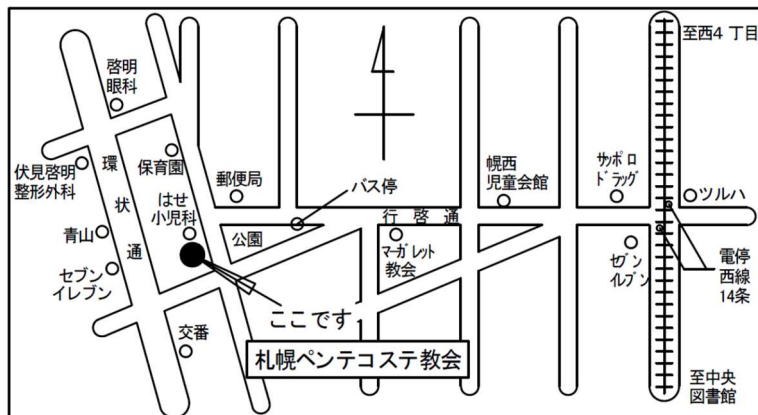
教会のホームページ <http://sapporopk.com/> → → → → →

NewHopeのバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりできます。

日本聖書協会のページ https://www.bible.or.jp/read/vers_search.html

『聴くドラマ聖書』アプリ <https://graceandmercy.or.jp/app/>

Bible Gateway <https://www.biblegateway.com/>



【教会へのアクセス】

西4丁目電停から市電にて
西線14条下車
JR札幌駅札幌ターミナルから
JR北海道バス啓明線[51]にて
南14条西17丁目下車

駐車スペース有